

資料編

2.市の情報化推進アンケート結果

南丹市

2023(令和5)年1月

## (1)実施概要

情報化推進に関する市民アンケートを下記概要で実施しました。

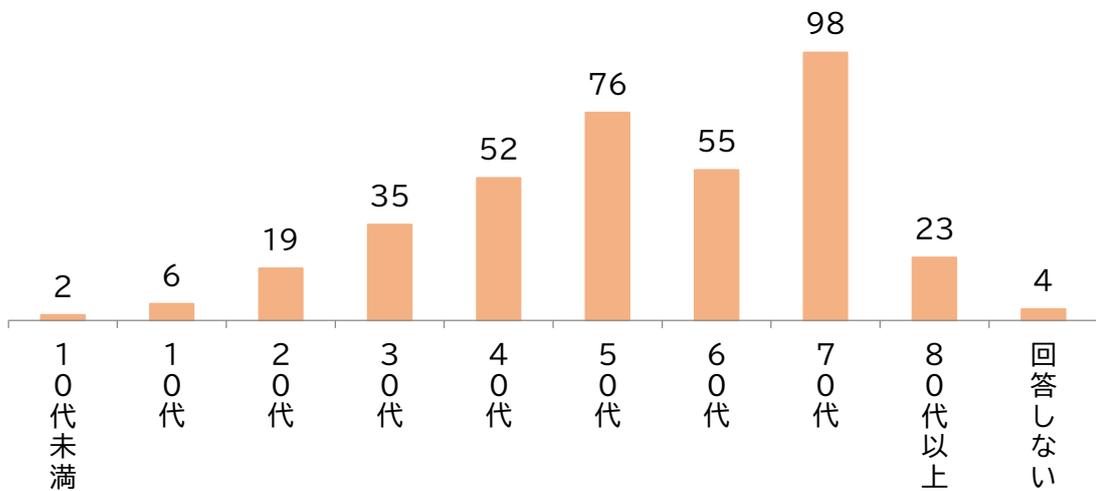
調査期間:2022(令和4)年11月11日~2022(令和4)年12月31日

調査対象:南丹市在住の市民(職員含む)

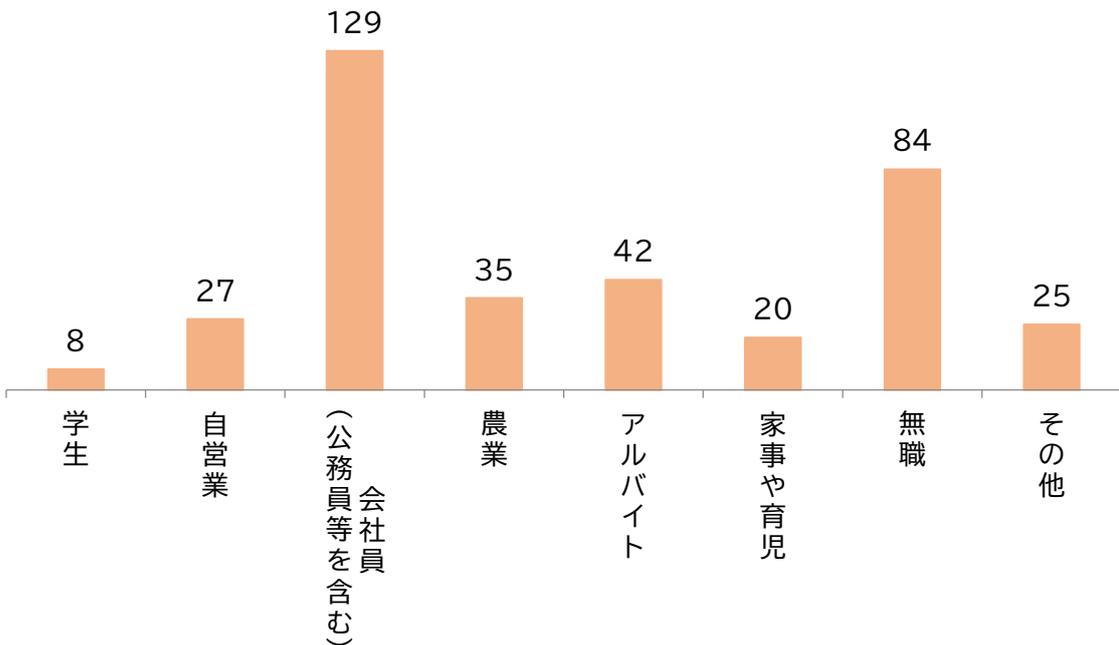
調査方法:オンラインアンケート及びアンケート用紙

回答者数:370人

【回答者の年代別内訳】 回答者数:370件



【回答者の職業別内訳】 回答者数:370件



## (2)アンケート結果

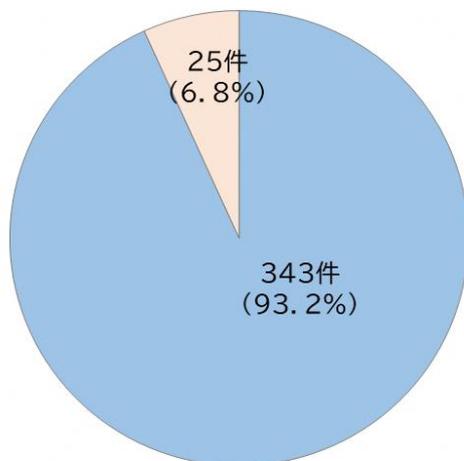
### ア スマートフォン保有とインターネットの利用について

スマートフォンの保有率については、回答者のうち93.2%がスマートフォンを保有していることが分かりました。

自宅などでWi-Fi・スマートフォンなどインターネットに接続できる環境がある方は91.3%となり、多くの世帯でインターネットサービスを受けられる環境であることが分かります。

【スマートフォン保有状況】

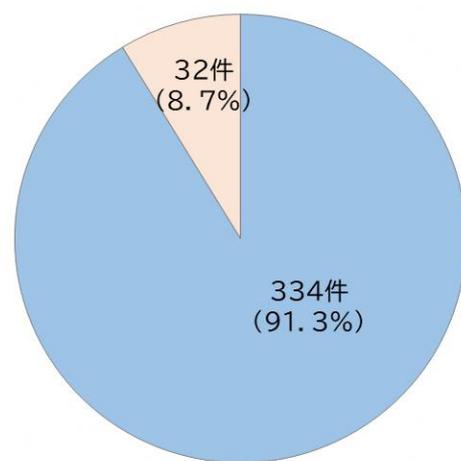
回答者数:368人



■所有している □所有していない

【インターネット接続環境】

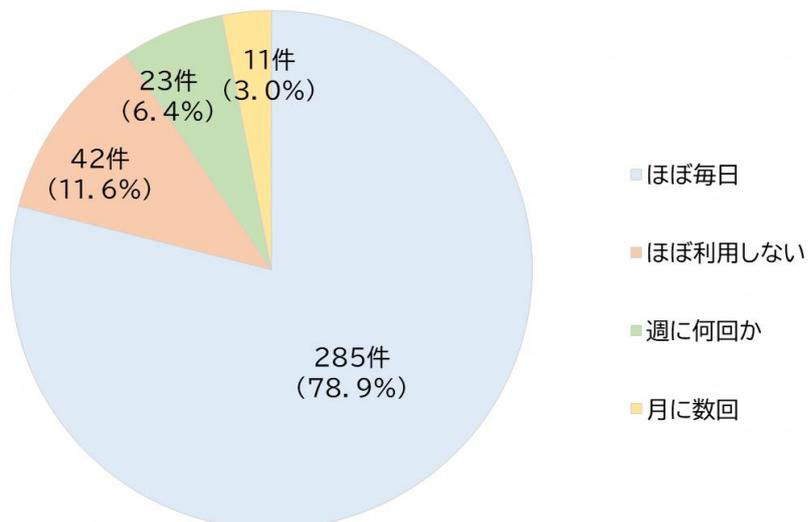
回答者数:366人



■ある □ない

インターネットの利用頻度は、「ほぼ毎日」の回答が78.9%と最も多く、「ほぼ利用しない」と回答した方は11.6%となり、多くの方がインターネットを利用していることが分かります。

【インターネットの利用頻度】 回答者数:361人



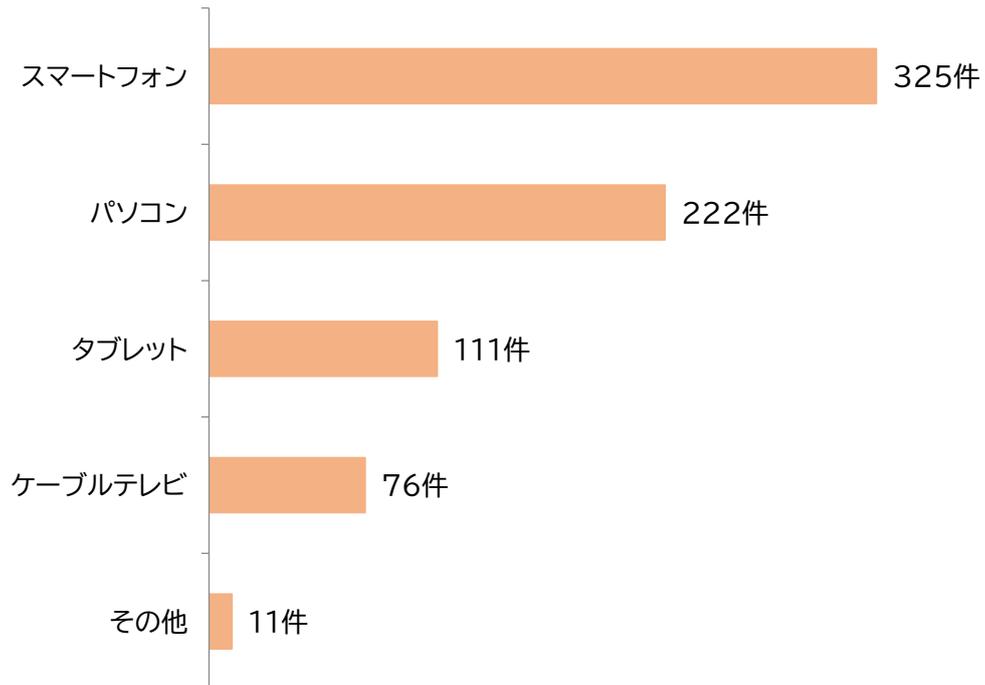
■ほぼ毎日  
■ほぼ利用しない  
■週に何回か  
■月に数回

## イ インターネット利用機器について

インターネットの利用機器調査の回答では、スマートフォンが最も多く325件となり、回答者の95%がスマートフォンからインターネットを利用していることが分かりました。

次いでパソコンの222件でした。

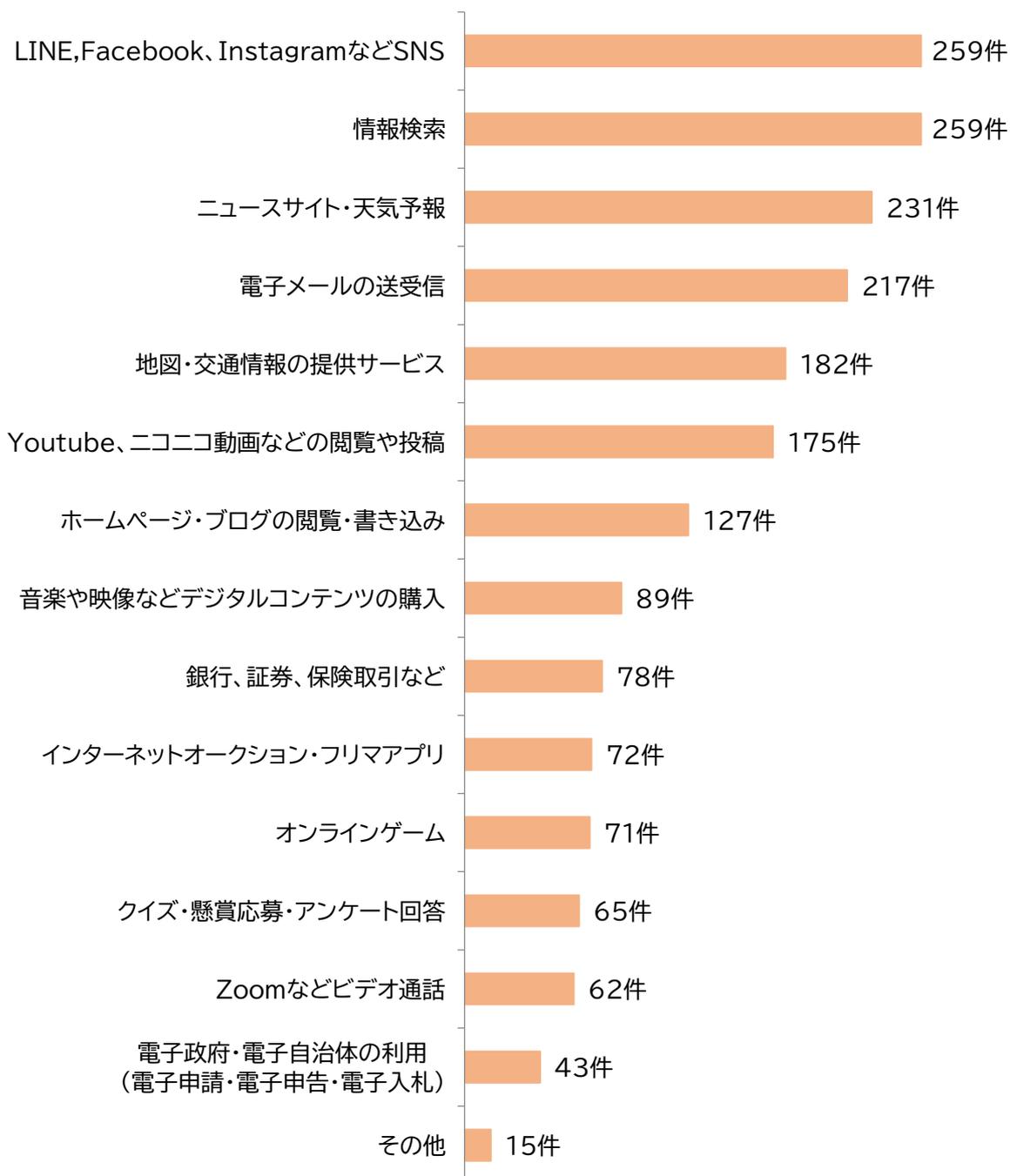
【インターネットの利用機器】 回答者数:342人(複数回答あり)



## ウ インターネットの利用目的について

インターネットの利用目的は、「SNSの利用」と「情報検索」が259件と最も多く、「ニュースサイト・天気予報」や「地図・交通情報の提供サービス」のような生活にかかわる情報の取得をしていることが分かります。また、「電子メールの送受信」や「YouTube、ニコニコ動画などの閲覧や投稿」といったサービスも多くの方が日常的に利用していることが分かります。

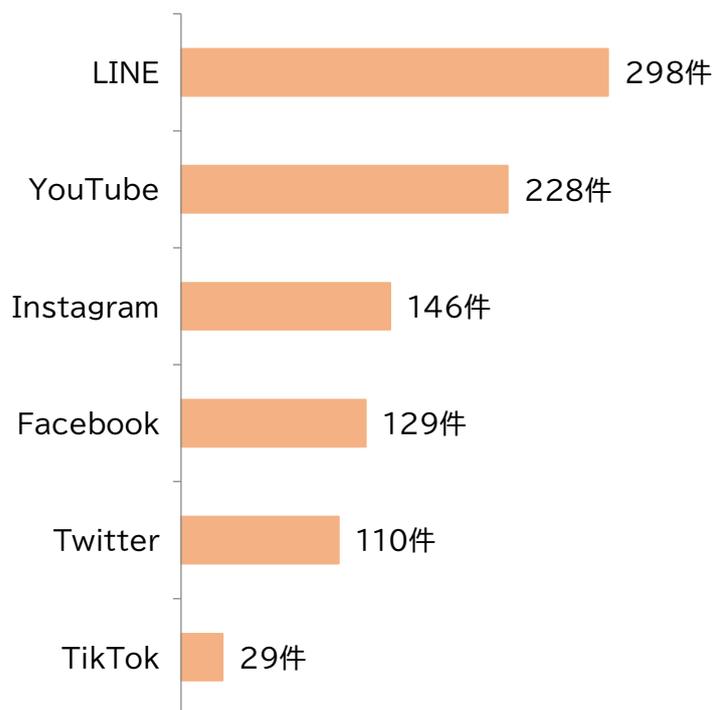
【インターネットの利用目的】 回答者数:333人(複数回答あり)



インターネットの利用目的では「情報検索」と「SNSの利用」が最も多い結果でしたが、利用するSNSの内訳は次のとおりでした。

LINEの利用が最も多く、298件で回答者の9割を超えています。次いでYouTubeの利用が、227件という結果となっています。

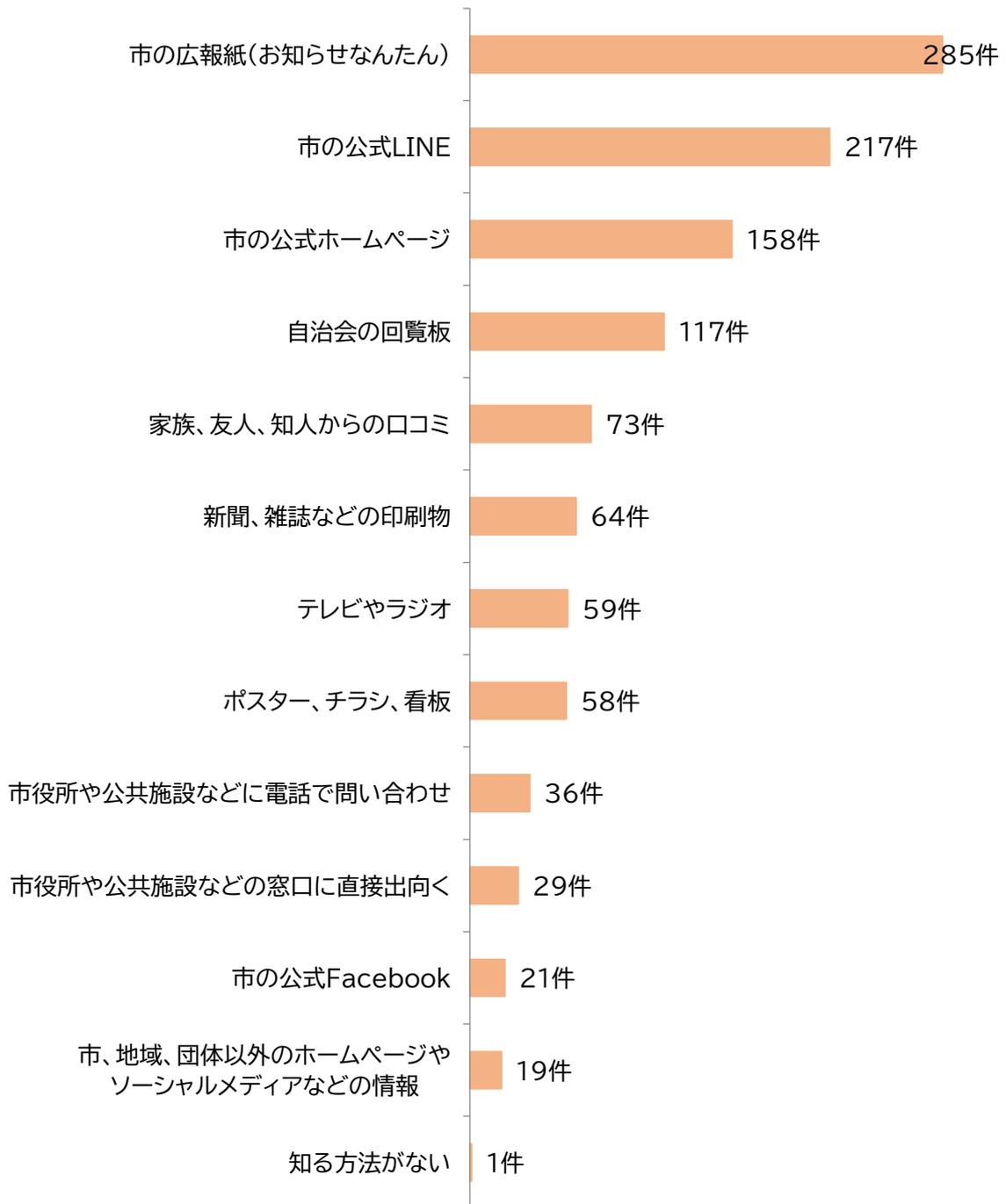
【インターネットの利用目的】 回答者数:321人(複数回答あり)



## エ 市の情報取得について

市の情報入手する手段について質問したところ「市の広報紙(お知らせなんたん)」が最も多く、次いで「市の公式LINE」や「市の公式ホームページ」となっており、インターネットを利用した情報の取得率も高い状況です。

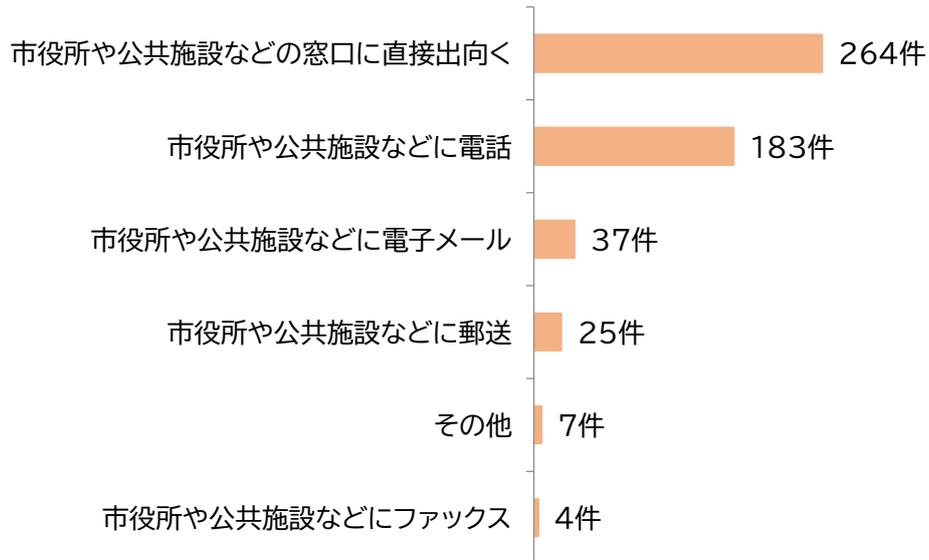
【市の情報取得手段】 回答者数:339人(複数回答あり)



## オ 市への問合せ等の方法

市民が行政手続きや市への問合せ、相談を行う際は、市役所等の「窓口へ直接出向く」が最も多く、回答者のうち78.8%となりました。次いで「電話」での問合せが多く54.6%となりました。

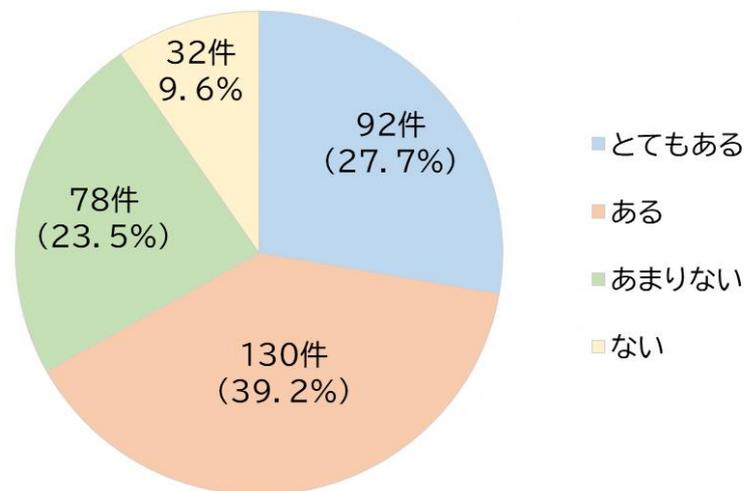
【市の情報取得手段】 回答者数:335人(複数回答あり)



## カ 情報化への関心度

市の情報化に対する関心度は「ある」が39.2%、「とてもある」が27.7%と合わせて7割近くの市民が情報化に関して興味を持っていることが分かりました。

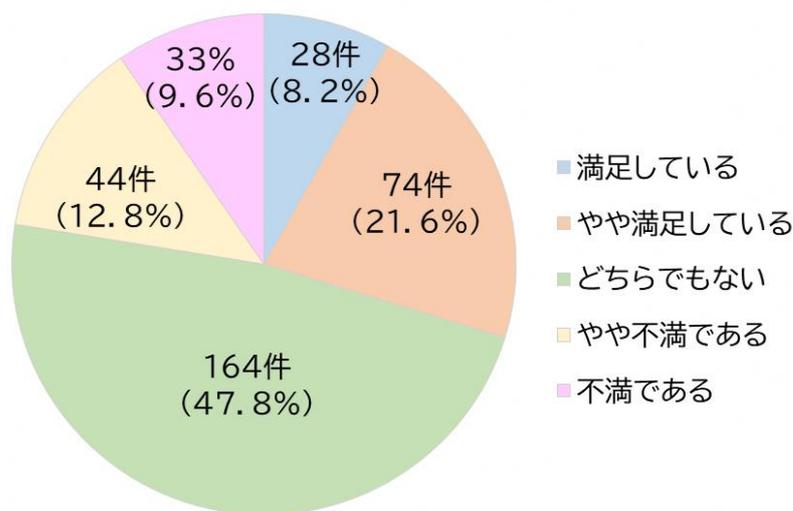
【情報化への関心】 回答者数:332人



## ク 情報化への満足度

満足度については「満足している」が8.2%、「やや満足している」が21.3%で、3割を下回る結果となりました。また「どちらでもない」は、47.8%と約半数を占めており、多くの方に情報化による利便性向上などが感じていただけていない状況です。

【情報化の満足度】 回答者数:343人



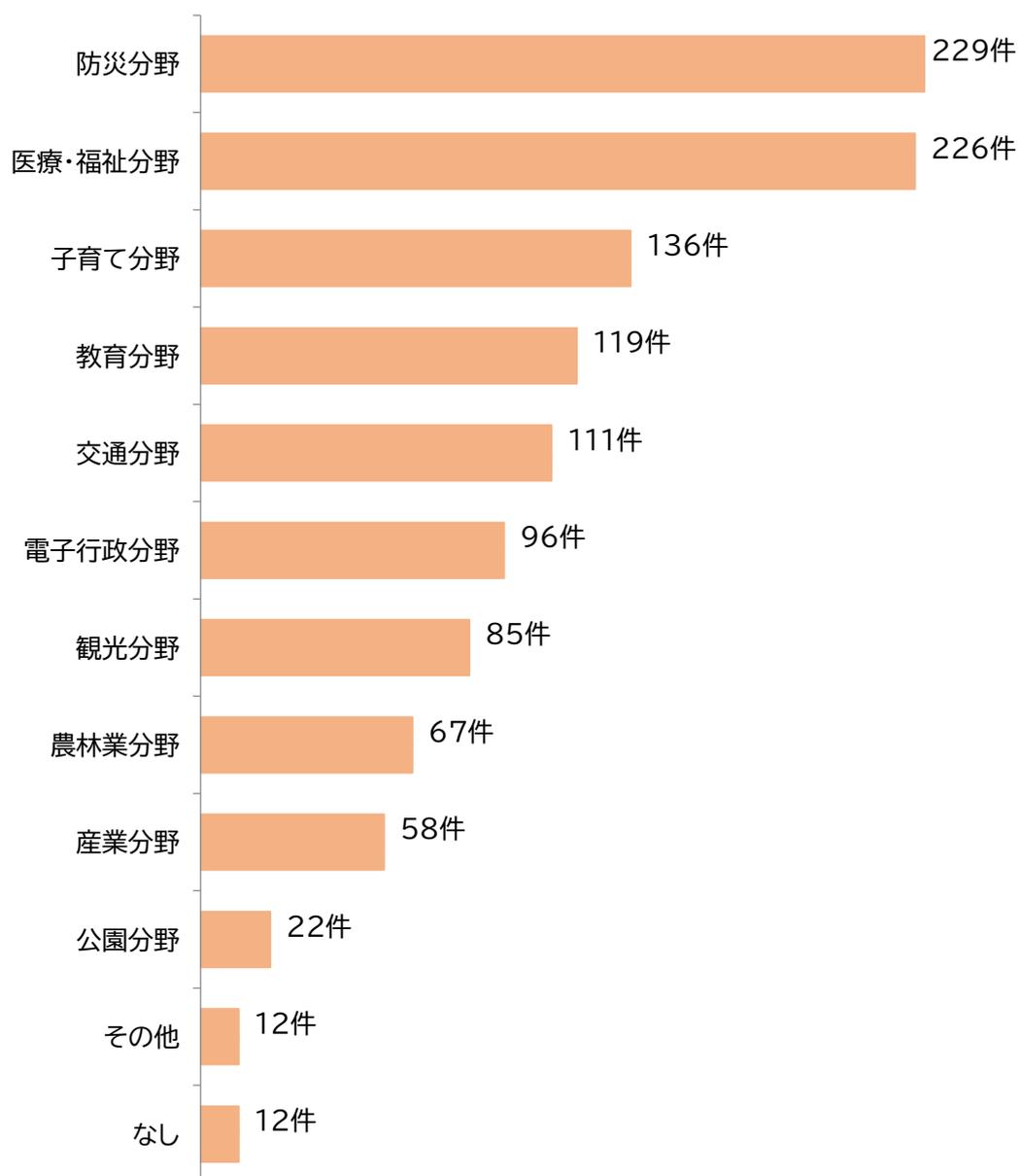
市民アンケートと総務省が2020(令和2)年に実施した「国民のインターネット利用動向調査」の結果を比較すると、情報通信機器の保有状況や利用内容に大きな差はなく、南丹市は全国平均的であることが分かりました。

その他、市への相談や問合せ手段が、市役所等に市民が直接出向く、若しくは電話で行っていることが大半を占めていることが分かりました。今後は来庁せずに24時間対応可能なAIチャットボットの導入や行政手続きのオンライン化の検討を進めるなど、市民の皆様のご生活に直結し、ダイレクトに情報化のメリットを感じていただける取組みを推進します。

## ケ 情報化において重要だと思う分野

市の情報化推進で重要と思われる分野についての質問をした結果、「防災分野」が最も多く、「医療・福祉分野」と続き、この2分野への関心が高いことが分かります。また、子育てや教育分野と回答した方も多く、子育て環境へのICT活用の期待も高まっていることが分かります。

【情報化において重要だと思う分野】 回答者数:334人(複数回答あり)

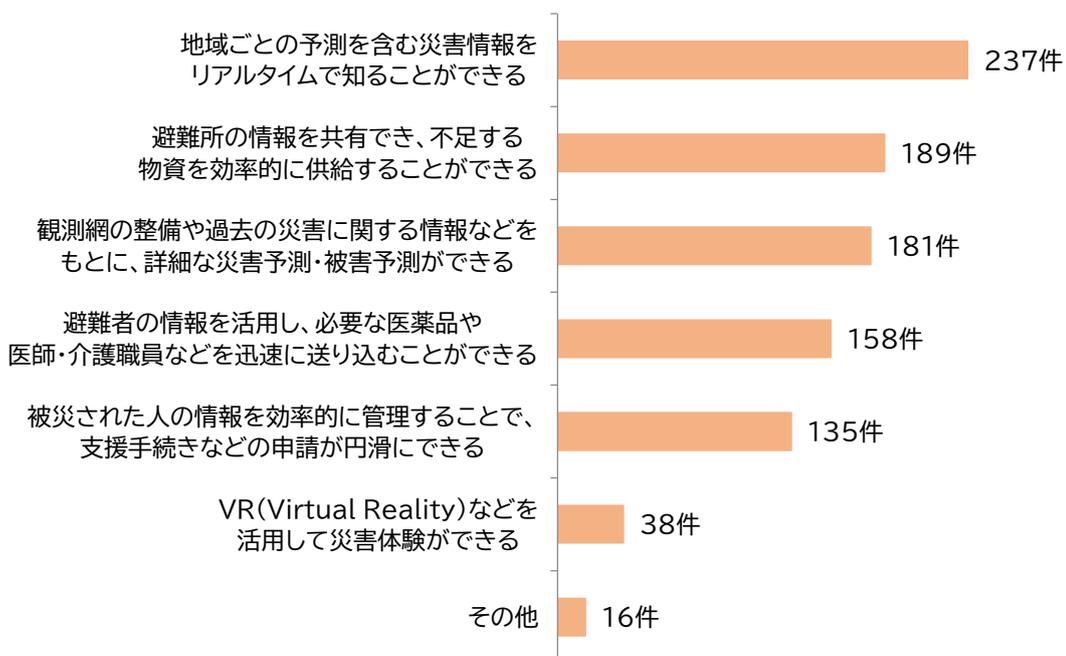


## コ 分野別の情報化への要望

分野ごとに実現してほしいサービスについての回答結果は次のとおりでした。  
「情報化において重要だと思う分野」の回答が多い順に記載します。

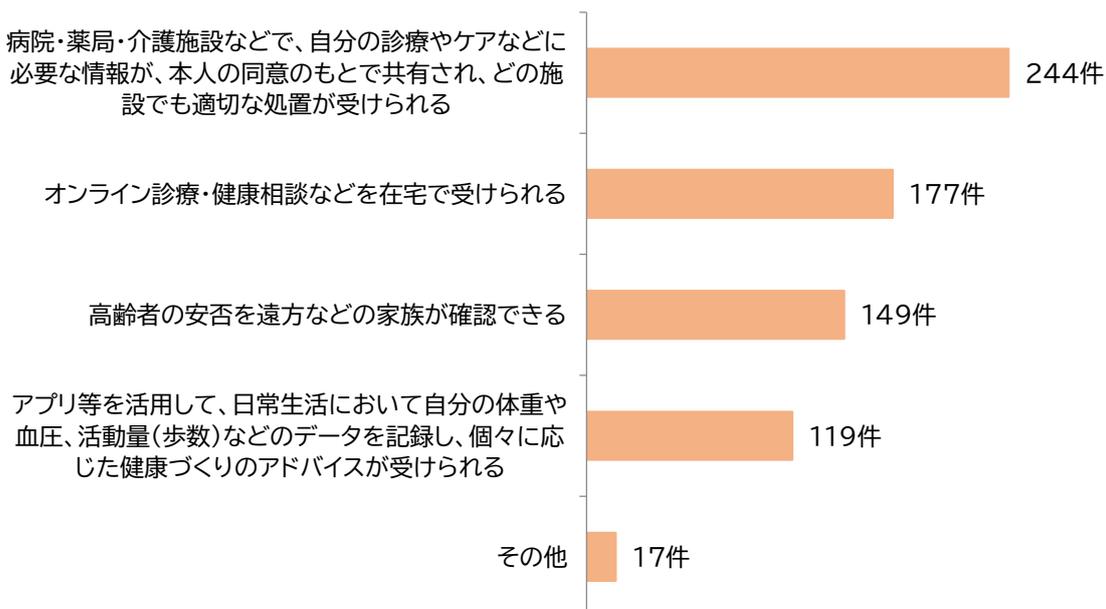
### 【防災分野】

回答者数:315人(複数回答あり)



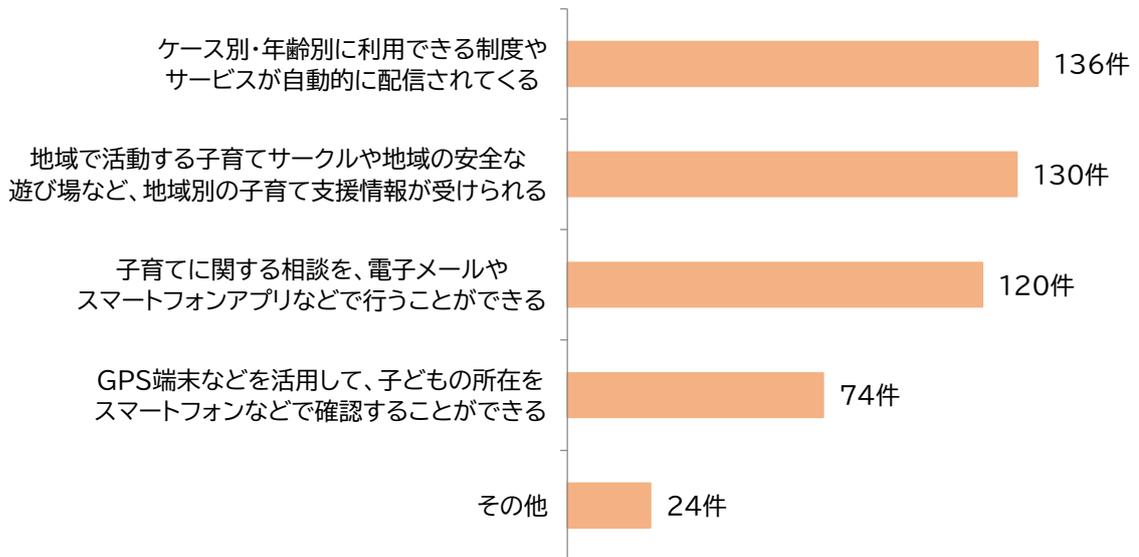
### 【医療・福祉分野】

回答者数:313人(複数回答あり)



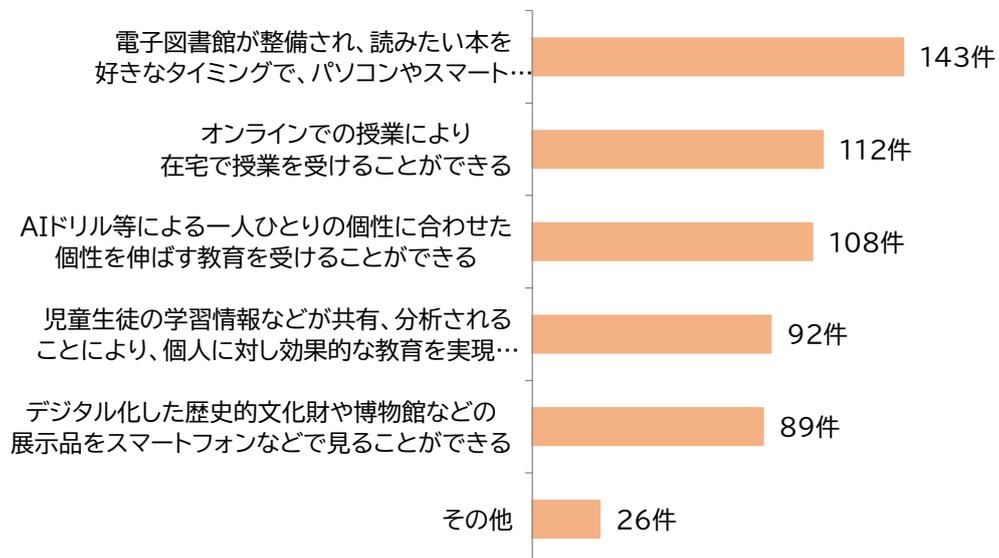
### 【子育て分野】

回答者数:272人(複数回答あり)



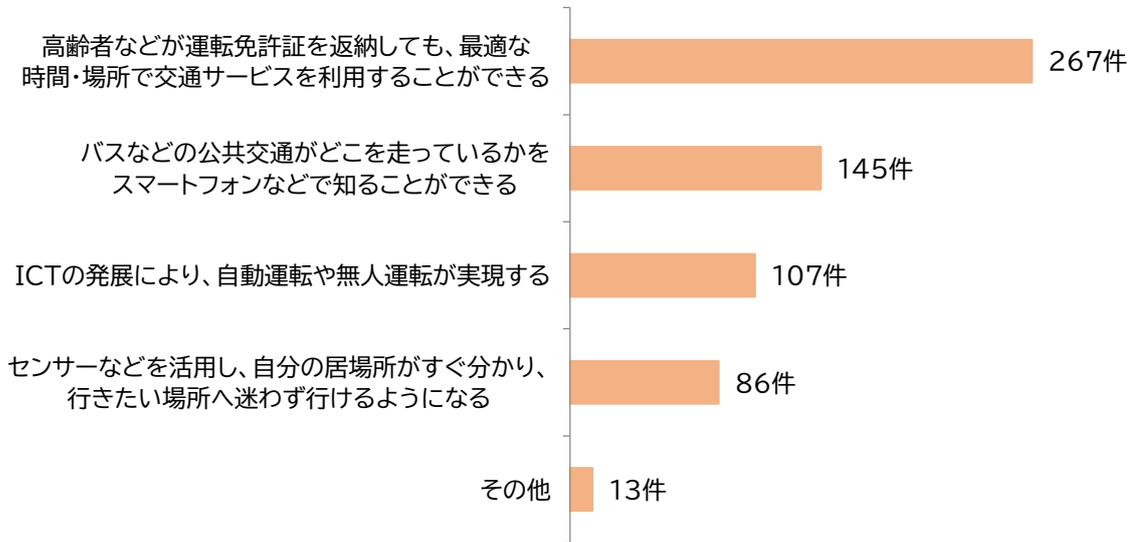
### 【教育分野】

回答者数:263人(複数回答あり)



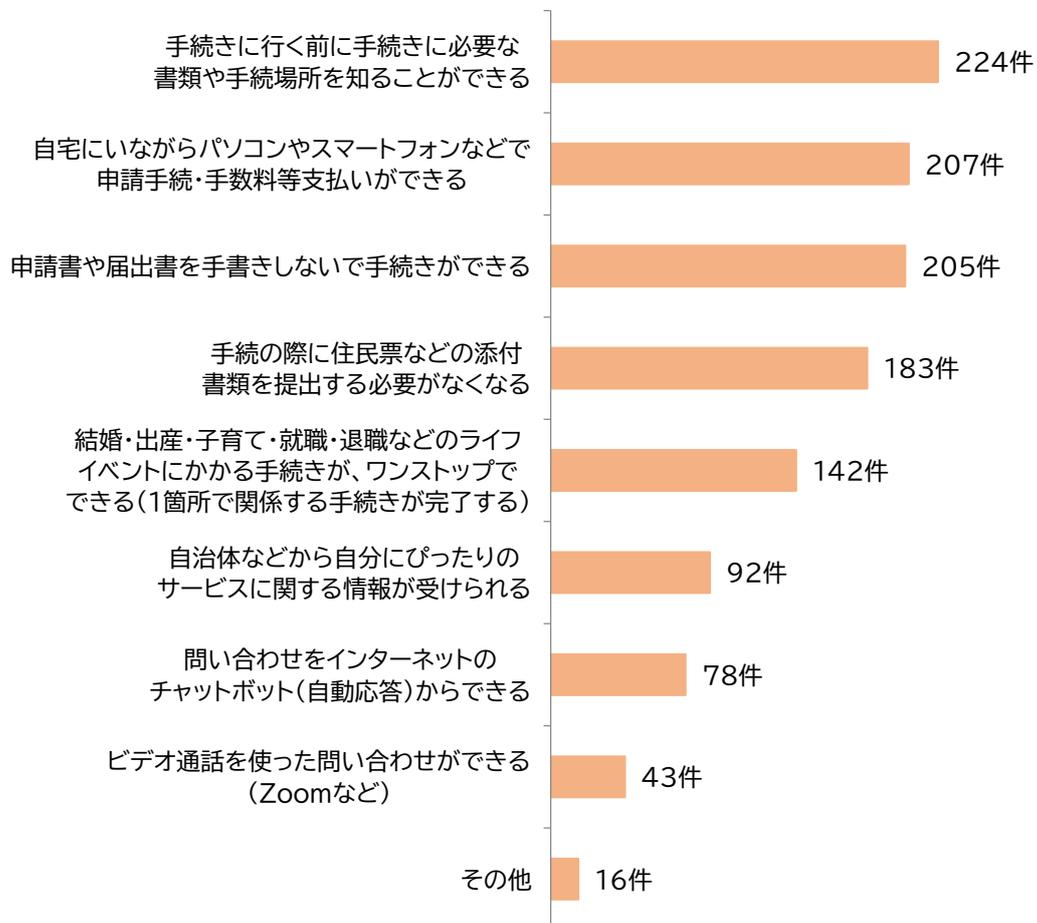
### 【交通分野】

回答者数:318人(複数回答あり)



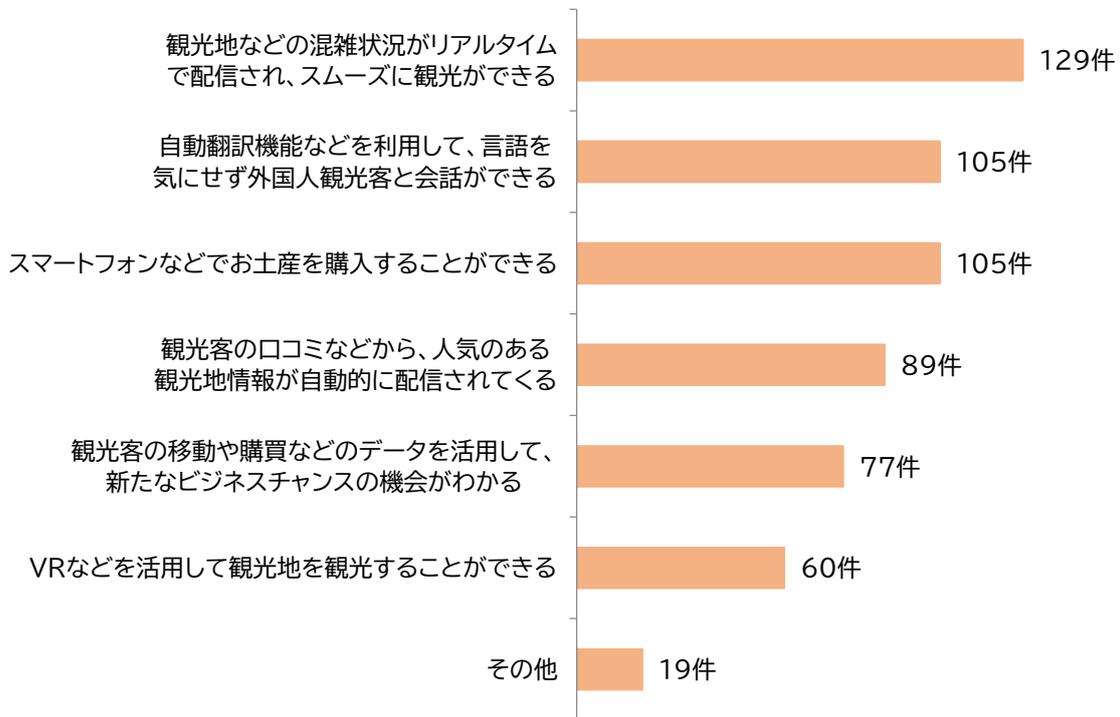
### 【電子行政分野】

回答者数:305人(複数回答あり)



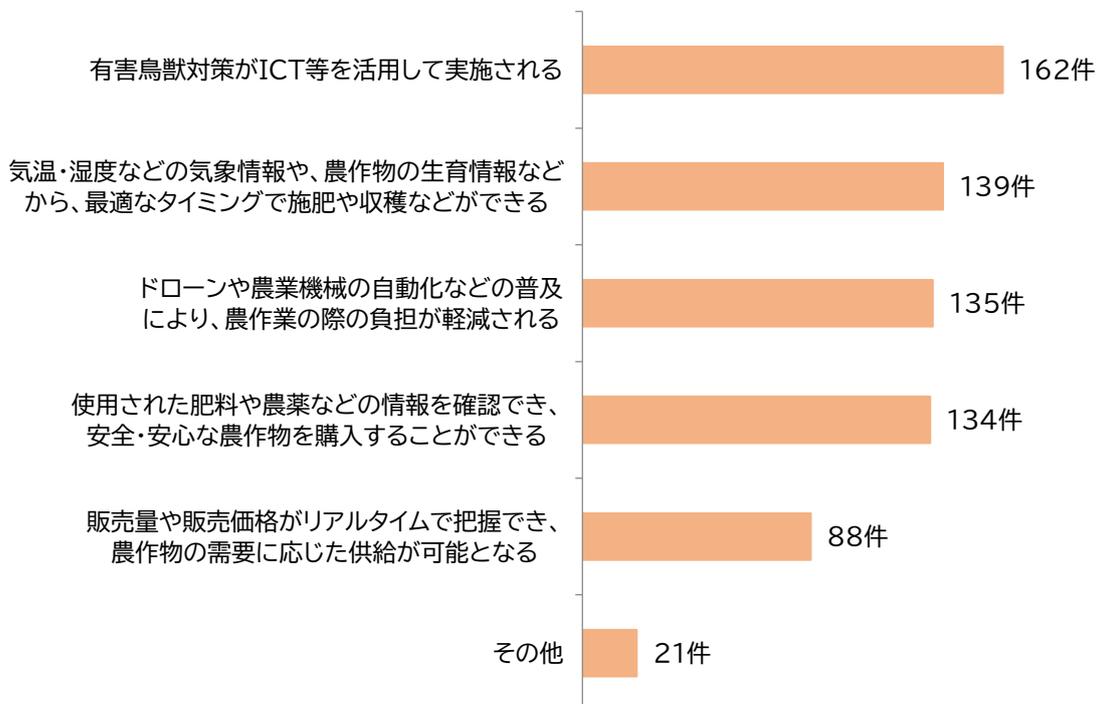
### 【観光分野】

回答者数:274人(複数回答あり)



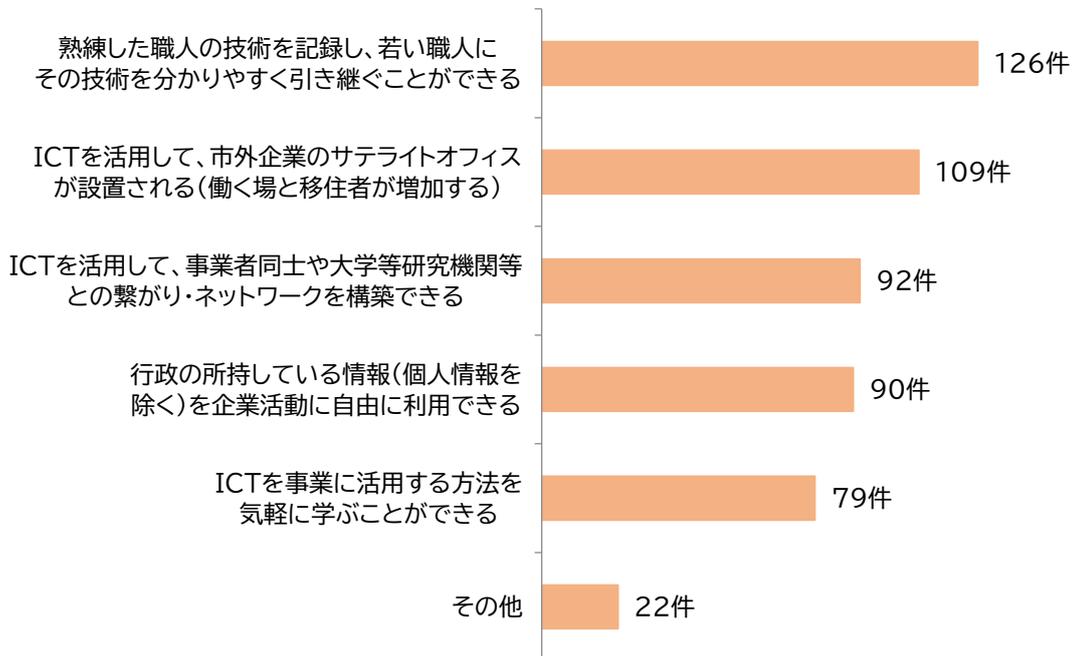
### 【農林業分野】

回答者数:291人(複数回答あり)



## 【産業分野】

回答者数:258人(複数回答あり)



分野別のニーズ調査では、防災分野と医療・福祉分野に関心やニーズが高いことが分かりました。また、「実現して欲しいサービス」の内容を見ていくと、高齢者をサポートするための情報化推進ニーズが高く、全国的な課題でもある高齢化に対するICTによる対応の重要性をあらためて認識することができます。

電子行政に関しても、行政手続きを便利にして欲しいという声が多く、本市の広さや交通の不便さが影響しているものだと考えます。

アンケートの回答が多いものは、市民の皆様が課題だと感じることであるため、情報化を推進するうえでの参考情報とさせていただきます。

**アンケートへのご協力ありがとうございました。**